日本パブリックリレーションズ協会会員誌

PRSj NEWS

PUBLIC RELATIONS SOCIETY OF JAPAN

2015年8・9月

NO. 266

TOPICS

「「PRプランナー部会」発足
PRプランナーの組織化、支援体制整備を通じ
PRパーソンの拡大発展に貢献」
(公社)日本パブリックリレーションズ協会　理事　田畑　好崇
MESSAGE　P3

「広報PRアカデミー2015
「広報・PR実務スキルアップ・シリーズ」を開講」
ATTENTION　P4

「広報PRアカデミー2015
「プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ」を10月開講」
ATTENTION　P5

「2015年度「PRアワードグランプリ」
9月1日からエントリー募集を開始！」
ATTENTION　P6

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号　六本木ヒルズノースタワー5F
電話(03)5413-6760　ファックス(03)5413-2147
URL　http://www.prsj.or.jp/

関西支部　〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F
電話(06)6344-3002　ファックス(06)6344-3005

発行人：近見　竹彦

8･9月合併号　目次

9月～10月のスケジュール		1
MESSAGE(メッセージ)	「「PRプランナー部会」発足」	3
ATTENTION((お知らせ)	「広報PRアカデミー2015「広報･PR実務スキルアップ･シリーズ」を開講」	4
〃	「広報PRアカデミー2015「プロフェッショナル広報･PR実務シリーズ」を10月開講」	5
〃	「2015年度「PRアワードグランプリ」9月1日からエントリー募集を開始！」	6
BULLETIN(活動報告)	「広報PRアカデミー2015　夏期の「PRプランナー1次試験対応講座」を終了」	8
〃	「広報PRアカデミー2015　第2回「PRSJ特別シンポジウム」を開催」	9
〃	「第16回PRプランナー資格検定試験　3次試験を7月25日実施」	10
〃	「7月23日「夏季情報交換会」開催」	12
〃	「第12回広報活動研究会「スカパーJSAT　スカパー東京メディアセンター」見学」	12
〃	「広報･PRのフロントランナーを結集」	13
REPORT(講演レポート)	「第166回定例研究会　テレビ東京のニュース報道」	14
VOICE of PR Planner	「資格取得で「ベテラン広報」のスタートラインに」	15
PR TREND(PRトレンド(関西)	「関西の風：日本の「おもてなし」を考える　～2020年東京オリンピックを控えて～」	17
協会掲載記事	「PRSJ　in　Media　7 月」	18
事務局からのお知らせ	「関西支部事務局員交代のお知らせ」	19

9月～10月スケジュール

第 34 回PRスキル研究会（PR業部会）
日　時　：　9 月 10 日（木）　17:30～18:30
会　場　：　㈱オズマピーアール　プレゼンテーションルーム
講　師　：　㈲シン　取締役社長／広報コンサルタント　石川慶子氏
テーマ　：　「メディアトレーニングの組み立て方　～戦略、服装。姿勢等～」

広報PRアカデミー2015 広報・PR実務スキルアップ・シリーズ
日　時　：　9 月 17 日（木）　13:30～
会　場　：　富士ソフトアキバプラザ
講　師　：　㈱電通パブリックリレーションズ　青田浩治氏
テーマ　：　「ニュースリリース活用講座」

第 168 回定例研究会
日　時　：　9 月 18 日（月）　12:00～
会　場　：　六本木アカデミーヒルズ 49
講　師　：　スターツ出版㈱「オズモール」編集部　編集長　荒武祐子氏
テーマ　：　「東京女子を中心とした会員 220 万人を魅了する“オズモール”の秘密
～多彩なメディア展開の融合が創るオズワールドの仕掛けを探る～」

2015 年度PRアワードグランプリ エントリー説明会（東京）
日　時　：　9 月 18 日（月）　16:00～17:30
会　場　：　（公社）日本パブリックリレーションズ協会　会議室

広報PRアカデミー2015 広報・PR実務スキルアップ・シリーズ
日　時　：　9 月 25 日（金）　13:30～
会　場　：　富士ソフトアキバプラザ
講　師　：　㈱インテグレート　鈴木正人氏
テーマ　：　「マーケティングPR活用講座」

第 241 回定例会（関西部会）
2015 年度PRアワードグランプリ エントリー説明会（大阪）
日　時　：　9 月 25 日（金）　17:00～
※定例会終了後、（18:30～予定）説明会を開催
会場　：　中央電気倶楽部

第 20 回広報ゼミ（企業部会）
日　時　：　9 月 29 日（火）　16:00～
会　場　：　松山大学　東京オフィス　会議室
テーマ　：　「進化するインターナルコミュニケーション
～社員との情報共有から社員の行動変革へ～」

広報PRアカデミー2015 広報・PR実務スキルアップ・シリーズ
日　時　：　10 月 2 日（金）　13:30～
会　場　：　富士ソフトアキバプラザ
講　師　：　㈱電通パブリックリレーションズ　岩井秀仁氏
テーマ　：　「コンテンツ活用PR講座」

広報PRアカデミー2015 プロフェッショナル広報・PR実務シリーズ（第 1 回）
日　時　：　10 月 6 日（火）　19:00～
会　場　：　六本木アカデミーヒルズ 49
講　師　：　㈱井之上パブリックリレーションズ　尾上玲円奈氏
テーマ　：　「コーポレート・コミュニケーション」

第 3 回PR経営者懇談会（PR業部会）
日　時　：　10 月 8 日（木）　18:30～21:00
会　場　：　日本外国特派員協会（FCCJ）
講　師　：　㈱サニーサイドアップ　代表取締役社長　次原悦子氏

9月～10月の理事会・委員会・部会スケジュール

定例理事会	**（９月度）**	日　時	：	9月　10 日（木）	12:00～14:00
	（10 月度）			10 月　8日（木）	12:00～14:00
		会　場	：	一般財団法人産業人材研修センター　霞会館(9 月 10 日)	
				※10 月 8 日は六本木ヒルズクラブ	
幹部会	**（９月度）**	日　時	：	9月　10 日（木）	10:30～11:45
	（10 月度）			10 月　8日（木）	10:30～11:45
		会　場	：	協会会議室	
教育委員会	**（９月度）**	日　時	：	9月　8日（火）	12:00～13:30
	（10 月度）			未定	
		会　場	：	協会会議室	
資格委員会	**（９月度）**	日　時	：	9月　16 日（水）	12:00～14:00
	（10 月度）			10 月　22 日（木）	12:00～14:00
		会　場	：	協会会議室	
国際・交流委員会	**（９月度）**	日　時	：	9月　17 日（木）	12:00～13:30
	（10 月度）			10 月　15 日（木）	12:00～13:30
		会　場	：	協会会議室	
広報委員会	**（９月度）**	日　時	：	9月　7日（月）	12:00～14:00
	（10 月度）			10 月　5日（月）	12:00～14:00
		会　場	：	協会会議室	
顕彰委員会	**（９月度）**	日　時	：	9月　18 日（金）	14:00～15:00
	（10 月度）			10 月　14 日（水）	13:00～15:00
		会　場	：	協会会議室	
企業部会幹事会	**（10 月度）**	日　時	：	10 月　6日（火）	17:00～18:00
	（11 月度）			未定	17:00～18:00
		会　場	：	協会会議室	
ＰＲ業部会幹事会	**（９月度）**	日　時	：	9月　15 日（火）	16:00～18:00
	（10 月度）			10 月　20 日（火）	16:00～18:00
		会　場	：	協会会議室	
ＰＲプランナー部会幹事会	**（９月度）**	日　時	：	9月　14 日（月）	19:00～21:00
	（10 月度）			未定	
		会　場	：	㈱電通パブリックリレーションズ　会議室	

「PRプランナー部会」発足

PRプランナーの組織化、支援体制整備を通じPRパーソンの拡大発展に貢献

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会
理事　田畑 好崇

この度、新設のＰＲプランナー部会長、ならびに理事を拝命いたしました。当部会の発足に尽力いただきました皆様に御礼申し上げます。

ＰＲプランナー部会は、1,800 人を超える有資格者という新たな活動母体を基盤に、所属組織や地域を超えた組織横断的な部会活動を行うという点で、これまでにないユニークな組織です。
一方で、ＰＲプランナーにはまだ協会非加入の方も多く、部会運営においては活動基盤強化が当面の課題です。会員の皆様のご理解と引き続きのご支援、ご指導をいただきますよう何卒よろしくお願いいたします。

ここでＰＲプランナー部会の活動について簡単にご紹介します。

■活動目的

ＰＲプランナーの組織化を図り、ＰＲパーソンの育成・拡大に向け、自らのスキル、企画力を活かした教育活動、認知向上活動、制度充実、会員拡大等支援活動を展開し、協会基盤強化にも貢献してまいります。

■主な活動

1. 組織化、相互交流の促進

ＰＲプランナー同士の情報交換や相互交流を促進する「ＰＲプランナー交流会」を開催し、既取得者も含め、特に新規取得者を中心とした交流促進とＰＲプランナーの組織化を図ります。

2. 学習機会の提供、専門人材の育成

職種や所属組織も様々なＰＲプランナーに向け、ＰＲを軸足に幅広い学習機会を継続的に提供する「ＰＲプランナーフォーラム」（東京、大阪）を開催し、資格更新の促進と資質の維持向上を図ります。

3. 社会的プレゼンスの向上

ＰＲプランナーが有する実務スキルや企画力を発揮していただき、資格取得メリットをわかりやすくアピールし、ＰＲプランナー制度の認知向上を通じた、取得者・更新者の拡大を図ります。併せて、ＰＲプランナーの専門性アピールを通じた資格価値向上と、ＰＲパーソンに対する社会的評価向上の向上を目指します。

4. 協会加入、活動参加の促進

ＰＲプランナー資格取得、協会会員入会メリットの拡大に向け、各種アンケートを通じた課題把握と解決策提言を行い、ＰＲプランナー制度の充実に貢献します。

今後のＰＲプランナー部会の活動にご期待ください！

ATTENTION

広報PRアカデミー2015

「広報・PR実務スキルアップ・シリーズ」を開講

教育委員会

協会では、来る９月 17 日、９月 25 日、10 月２日の３回にわたって「広報ＰＲアカデミー2015 広報・ＰＲ実務スキルアップ・シリーズ」３ 講座を東京・秋葉原の「富士ソフト アキバプラザ」にて開講します。

本講座は、広報・ＰＲ業務に経験のある実務者を対象とし、現場実務で効果的に役立つ知識とスキルを習得します。いずれの講座も実務に経験豊富な講師による講義とスキル演習で構成し、実務能力の強化をめざします。ＰＲ会社、企業・各種団体の皆様には、メンバーの養成と実力強化に向け本講座をご活用ください。

■「広報・PR実務スキルアップ・シリーズ」の概要

日 時	講座テーマ	講座概要	講　　師	締切
９月 17 日（木）13:30 ～ 17:30	プレスリリース活用講座	プレスリリースに関する基本的な知識を確認し、メディアの関心を惹く魅力的なプレスリリースの作成ポイントを学びます。またネット上での効果的な情報拡散を企図した複合的な情報発信の手法について、４時間の講義と演習を通じて習得します。	㈱電通パブリックリレーションズ ナレッジマネジメント部 部長　青田浩治 氏	９月 11 日（金）
９月 25 日（金）13:30 ～ 17:30	マーケティングPR活用講座	マーケティングPRの役割や機能を「経営・事業・マーケティング・PR」の各視点から捉えなおします。また、急速に変化するメディア環境に対応して、より効果的なマーケティングPRを実践するためのプランニングの基本を講義と演習を通じて習得していただきます。さらに、従来のマーケティングPRの概念を超え、新たな市場を創造する戦略的な手法として注目されるIMCについても解説します。	㈱インテグレート 取締役 鈴木正人 氏	９月 18 日（金）
10 月２日（金）13:30 ～ 17:30	コンテンツ活用PR講座	単に最新のテクノロジーを駆使したクリエイティビティの向上をめざすのではなく、PRの現場において日頃から直面している課題の解決法について解説します。特に開発した「コンテンツ」から「どのように情報提供していくか」「PR素材としていかに活用していくか」に関し、演習を交えながら実践的に習得します。	㈱電通パブリックリレーションズ テレビ業務推進部 部長　岩井秀仁氏	９月 28 日（月）

●会　場：富士ソフト　アキバプラザ「セミナールーム３」
（東京都千代田区神田練塀町３　富士ソフト秋葉原ビル６F）

●定　員：各 40 名

●受講料：受 講 料（消費税込、各講座それぞれ）

日本ＰＲ協会会員社員	21,600 円
ＰＲプランナー（准・補）取得者	27,000 円
一般	32,400 円

※日本ＰＲ協会会員社員の受講料は法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

■講座詳細/お申込み：

日本ＰＲ協会Ｗｅｂサイト 「セミナーイベント」―「広報ＰＲアカデミー2015」（下記 URL）から 『広報・ＰＲ実務スキルアップ・シリーズ』の各ページをご参照の上、所定のフォームに必要事項を記入してお申込みください。

http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2015

広報PRアカデミー2015

「プロフェショッナル広報・PR実務シリーズ」を 10 月開講

―「ソーシャル・コミュニケーション講座」を加え今年度は6講座を予定―

教　育　委　員　会

当協会では、本年 10 月から来年 3 月にかけて、「プロフェッショナル広報・ＰＲ実務シリーズ」6 講座を六本木アカデミーヒルズにおいて開講します。

「プロフェッショナル広報・ＰＲ実務シリーズ」は、第一線で活躍している広報・ＰＲ実務者を対象とし、業務分野として重要度の高いコーポレート、クライシス、ＣＳＲ、ブランド、グローバルなどのコミュニケーション分野において、より高いレベルでの業務の遂行に必要となる専門的知識及びスキルの習得をめざします。今年度は新たに社会的な視点に立ったコミュニケーション活動をテーマとする「ソーシャル・コミュニケーション講座」を追加し、全 6 講座として開講を計画しています。

講師には、大学教授等の学識者、広報・ＰＲの実務専門家をお招きし、専門的な見地から各分野の最新動向やこれからの業務遂行において重要となるポイントについてご解説いただきます。

各講座は、下記日程において開講を予定しています。ＰＲ会社、企業の広報・ＰＲ部門の皆様には、メンバーの実務能力の向上に向け、本講座の受講をお薦めします。

● 開講予定

開講日程	講 座 名	講　　師
2015 年 10 月 6 日(火)	コーポレート・コミュニケーション講座	(株)井之上パブリックリレーションズ 執行役員　尾上玲円奈氏
2015 年 11 月 18 日(水)	クライシス・コミュニケーション講座	(株)田中危機管理広報事務所 代表取締役社長　田中正博氏
2015 年 12 月 16 日(水)	CSR コミュニケーション講座	(株)電通パブリックリレーションズ シニアコンサルタント　大川陽子氏 シニアコンサルタント　細川一成氏
2016 年 2 月 4 日(木)	マーケティング・コミュニケーション講座	中央大学ビジネススクール 教授　田中　洋氏
2016 年 2 月 24 日(水)	グローバル・コミュニケーション講座	エデルマン・ジャパン(株) 代表取締役社長　ロス・ローブリー氏
2016 年 3 月 23 日(水)	ソーシャル・コミュニケーション講座	(株)インテグレート 取締役　鈴木正人氏

● 会　場：六本木アカデミーヒルズ 49
東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49 階

● 定　員：各 40 名（開講最低人数：20 名）

●講座詳細/お申込み：

日本ＰＲ協会Ｗｅｂサイト 「セミナーイベント」―「広報ＰＲアカデミー2015」(以下 URL)から 『プロフェッショナル広報・ＰＲ実務シリーズ』の各ページをご参照の上、所定のフォームに必要事項を記入してお申込みください。

http://event.prsj.or.jp/pr-academy-2015

2015 年度「PRアワードグランプリ」
9 月 1 日からエントリー募集を開始！

顕　彰　委　員　会

優秀な活動を表彰・公開し、コミュニケーション技術の質的向上を図る目的としてスタートした「ＰＲアワードグランプリ」のエントリー募集を 9 月 1 日から開始いたしました。

今年度の応募部門は前年度と同様、コーポレート・コミュニケーション部門、マーケティング・コミュニケーション部門、ソーシャル・コミュニケーション部門、イノベーション／スキル部門の 4 部門です。

会員の皆様におかれましては、募集要項をご参照いただき奮ってエントリーをお願いいたします。多数のエントリーをお待ちしております。

■「ＰＲアワードグランプリ」募集概要

・募集開始：2015 年 9 月 1 日（月）
・後援　　：経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会
・告知　　：協会Ｗｅｂサイト等
・応募作品：（公社）日本パブリックリレーションズ協会の会員社ならびに非会員の企業・団体が実施あるいは参加したコミュニケーション活動（現在も継続中であれば過去の応募作品も可）
・対象期間：最近 1 年間（2014 年 10 月 1 日～2015 年 9 月 30 日）に成果があがった活動、または 2014 年 10 月 1 日以前から実施し、複数年にわたり現在でも継続している活動
・応募部門：
　■コーポレート・コミュニケーション部門
　■マーケティング・コミュニケーション部門
　■ソーシャル・コミュニケーション部門
　■イノベーション／スキル部門
・募集締切　：2015 年 10 月 30 日（金）必着
・エントリー方法：エントリーシートを添付の上、エントリー作品を当協会までご郵送ください。
・エントリー条件：
　・会　員：10,800 円／1 作品（消費税含む／振込手数料別途）
　・非会員：21,600 円／1 作品（消費税含む／振込手数料別途）
・審査方法：
　部門審査会、合同審査会、最終審査会の 3 つのステップを通じて、厳正に審査を行います。

1. 部門審査会
各部門ごとに部門審査員がエントリーシートをもとに在宅審査を行い、各自上位 3 作品を選出したあと一堂に会し、補足資料も参考に協議の上、各部門の上位優秀 3 作品を選出する。各部門の審査員は 5 名で構成。審査員長は学識経験者や専門家から、審査員は昨年度の入選入賞者を中心に、企業及び団体から 2 名、ＰＲ業から 2 名。

＜部門審査員＞（敬称略）
■コーポレート・コミュニケーション部門（5 名）
・部門審査員長：井上 邦夫（東洋大学　経営学部経営学科 教授）
・部門審査員　：入賞者を中心に 4 名

■マーケティング・コミュニケーション部門（5 名）
・部門審査員長：田中　　洋（中央大学大学院 戦略経営研究科 教授）
・部門審査員　：入賞者を中心に 4 名
■ソーシャル・コミュニケーション部門（5 名）
・部門審査員長：井出　留美（株式会社 office3.11 代表取締役）
・部門審査員　：入賞者を中心に 4 名
■イノベーション／スキル部門（5 名）
・部門審査員長：雨宮　和弘（ＩＡＢＣジャパンチャプター 代表）
・部門審査員　：入賞者を中心に 4 名

2. 合同審査会
4 部門から選出された作品をもとに、各部門審査員長 4 名が一堂に会し議論し、各部門間のレベルを検証し、最終審査会持込作品を決定する。

3. 最終審査会
最終審査会・発表：2015 年 12 月 9 日（水）
最終審査会では、部門審査会及び合同審査会を通過した作品について各エントリー企業・団体からのプレゼンテーションを行う（1 社 10 分）。審査方法は、特別審査員 5 名、各部門審査員長 4 名と公募による一般審査員により審査される。一作品につき 3 点を上限とし、各作品ごとに 1 点､2 点､3 点で評価し､特別審査員と各部門審査員長はそれぞれの点数を 5 倍し、一般審査員の点数との合計ポイントでグランプリはじめ各賞を決定する。

＜最終審査員＞（敬称略／氏名 50 音順）
■特別審査員（5 名）
阿久津　聡（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授）
大宅　映子（評論家・コメンテーター）
佐々木紀彦（株式会社ユーザーベース 執行役員 「ニュースピックス」編集長）
高橋　淳子（経済産業省　商務情報政策局　文化情報関連産業課　課長補佐）
田中　里沙（株式会社 宣伝会議　取締役副社長・編集室長）
■各部門審査員長（4 名）
雨宮　和弘（ＩＡＢＣジャパンチャプター 代表）
井出　留美（株式会社 office3.11 代表取締役）
井上　邦夫（東洋大学　経営学部経営学科 教授）
田中　　洋（中央大学大学院 戦略経営研究科教授）
■一般審査員　40 名～50 名（予定）
ＰＲ協会会員および非会員から公募により選出（1 社 2 名まで）

・表彰
「ＰＲアワードグランプリ」　1 作品（表彰盾と副賞 10 万円を授与）
「ＰＲアワード　最優秀部門賞」　4 作品（各部門 1 作品）（表彰盾と副賞 5 万円を授与）
「ＰＲアワード　優秀賞」　7 作品（各部門 2 作品以内）（表彰状を授与）

・「ＰＲアワードグランプリ」上位入賞作品を以下で紹介
・ＰＲ協会Ｗｅｂサイト
・協会出版物（「PRSJ Yearbook」、「協会ニュース」等）で発表
・協会主催のセミナーなど

なお、詳しい応募内容は、以下の協会ホームページをご参照ください。
http://www.prsj.or.jp/shiraberu/award/entry2015_award

広報PRアカデミー 2015

夏期の「PRプランナー1 次試験対応講座」を終了

3 次対応講座でおなじみの田代　順氏が講師を初担当

教　育　委　員　会

去る 7 月 15 日より 8 月 4 日まで 4 回にわたって、「ＰＲプランナー1 次試験対応講座」が「泉ガーデンコンファレンスセンター（東京都港区六本木 1 丁目）にて開講されました。

「1 次試験対応講座」は、過去の試験で実際に出題された問題を使用した模擬試験を通じて、1 次試験の形式やレベルとともに、広報・ＰＲに関する基本的な理解をはかります。実際の 1 次試験の半分となる 25 の問題を、試験時間の半分となる 40 分で回答、その後、講師が問題の解説を行う形式で講座を進める実践的な講座として夏期と冬期に開講しています。

特に今回は、「3 次試験対応講座」で「合格するプレスリリースの作成法」の講師として評判の高い（株)スペインクラブの田代　順氏が、ベテランの永井昌代氏とともに本講座も担当、多くの受講者の好評を集めました。

8 月 23 日には、「第 17 回 ＰＲプランナー認定 1 次試験」が東京、大阪、名古屋、札幌において実施されており、この 1 次対応講座に臨んだ受講者多数の合格が期待されます。

なお、次回の 1 次試験対応講座は来年 2 月に開講の予定です。募集詳細の公開ならびに受講受付は、12 月より日本ＰＲ協会のＷｅｂサイトにて行います。

広報PRアカデミー2015

第２回 「PRSJ特別シンポジウム」を開催

「パブリックリレーションズ視点でデザインするソーシャル志向のマーケティング」

教　育　委　員　会

去る７月 22 日、当協会は「パブリックリレーションズ視点でデザインするソーシャル志向のマーケティング～生活者と企業・組織が共創する新たな価値とは」をテーマとして、第２回となる「ＰＲＳＪ特別シンポジウム」を東京・秋葉原の「富士ソフト　アキバプラザ」において開催しました。

今回のシンポジウムは、ソーシャル志向のマーケティングの方向性や、生活者と企業・組織が共創する新たな価値形成のあり方を探るパネルディスカッションによって構成されています。

モデレータにはマーケティングに造詣の深い一橋大学商学研究科教授の神岡太郎氏を迎え、またパネリストにはユニークな大学広報の展開で知られる近畿大学 広報部長の世耕石弘氏、ハイブリッドカー「ＡＱＵＡ」のマーケティングと自然環境の保全活動とを連携させた一般参加型の社会貢献プロモーション『AQUA　SOCIAL FES!!』を担う株式会社トヨタマーケティングジャパンの村川祐介氏、食物繊維の新コンセプト「ファイバー・デトックス」の普及をはじめ数々のＩＭＣ（Integrated Marketing Communication）キャンペーンの仕掛け人として知られる株式会社インテグレートＣＯＯの山田まさる氏、「カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル」ＰＲ部門の審査員経験もあり最新のＰＲトレンドに詳しい株式会社電通パブリックリレーションズ コミュニケーションデザイン局長の井口　理氏の４名と、マーケティングやＰＲの最新事情をリードする強力な論客を迎えました。

第１部「ソーシャル志向のマーケティングとは」では、４名のパネリストが自己紹介をかねてそれぞれの取組みの概要を語り、モデレータを務める神岡教授の巧みな進行に基づいて時代認識やマーケティング及びＰＲに関する考え方などが浮き彫りにされました。引き続き進められた第２部「ソーシャル志向のマーケティングにおけるパブリックリレーションズの役割」では、パブリックリレーションズとマーケティングの関わり、ソーシャル志向のマーケティングにおける目標やＫＰＩの設定についての考え方、これからの広報部門、ＰＲ会社の役割について忌憚のない率直な意見が述べられるなど、各パネリストの考え方が余すところなく引き出され聴講者の興味を集めました。パネルディスカッションの最後には会場を埋めた聴講者から活発な質問が寄せられ、これからのマーケティングやＰＲの行方に関する強い関心を感じさせています。

今年度、当協会では２回の「特別シンポジウム」の開催を計画しています。次回に向けては新たなテーマと登壇者の設定についての検討を進め、来年 1～2 月に開催する予定です。

第 16 回ＰＲプランナー資格検定試験

3 次試験結果発表
合格者は 89 名（合格率 64.5%）

資　格　委　員　会

7 月 25 日（土）に富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター（東京会場）、富士通ラーニングメディア関西ラーニングセンター（大阪会場）において第 16 回ＰＲプランナー資格検定 3 次試験が行われ、142 名の受験申込者のうち 138 名（出席率 97.2%）が受験されました。
ご協力いただきました関係者および関係各位の皆様、大変ありがとうございました。

今回の 3 次試験におけるニュースリリース課題は、中堅損害保険会社が、自転車が加害者となる事故に的を絞った日本初の保険商品を発売するという内容でした。

また、広報・ＰＲ計画の立案作成におけるコーポレート課題は、宝飾品・貴金属販売企業が経営体質の改善と経営戦略をめぐり、創業者派と社長派の間で対立。臨時株主総会を経て、社長の提案が可決された。社長の提案内容となる、新経営方針への理解獲得と企業イメージの回復を図りながら、社内の一体感醸成、新事業戦略の具体化、さらには各ステークホルダーに対して適切なアプローチを含む施策の立案と実行に取り組む広報・ＰＲ計画を策定するものでした。

東京会場:
富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター

マーケティング課題では、著名な名所旧跡はなくスーパーやコンビニもない限界集落化を目前にした村が、首都圏や関西圏に住む若者層に対して、都市ではできない体験と交流人口の増加を図ることに加えて、これを機に地域資源の見直しと活用を行い、地域活性化、すなわち村民の生活意欲・仕事意欲の向上と産業の振興につなげる活動の広報・ＰＲ計画を策定するものでした。

厳正な判定の結果、89 名が合格（合格率 64.5%）となり、8 月 19 日に発表となりました。

合格された方は、9 月に実施されます「2015 年度前期 第 16 回ＰＲプランナー」の書類審査を経た後、新たにＰＲプランナーとして認定となります。仮に、全員が認定されれば、ＰＲプランナー登録者数は 1,934 名となります。

また、今回の受験者はおよび合格者の受験者プロフィールは次ページの通りです。

＜第 16 回 3 次試験　業種別／年代別合格率＞

		ＰＲ業/ ＰＲ関連業	一般企業 (広報ＰＲ関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	その他	全体
男性	受験者	18 名	40 名	7 名	3 名	3 名	1 名	2 名	74 名
	合格者	12 名	20 名	5 名	3 名	2 名	1 名	0 名	43 名
女性	受験者	20 名	27 名	5 名	5 名	5 名	0 名	2 名	64 名
	合格者	15 名	18 名	5 名	4 名	3 名	0 名	1 名	46 名
全体	受験者 (全体比)	38 名 (27.5%)	67 名 (48.6%)	12 名 (8.7%)	8 名 (5.8%)	8 名 (5.8%)	1 名 (0.7%)	4 名 (2.9%)	138 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	27 名 (30.3%)	38 名 (42.7%)	10 名 (11.2%)	7 名 (7.9%)	5 名 (5.6%)	1 名 (1.1%)	1 名 (1.1%)	89 名 (100.0%)
	合格率	**71.1%**	**56.7%**	**83.3%**	**87.5%**	**62.5%**	**100.0%**	**25.0%**	**64.5%**

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男性	受験者	6 名	36 名	32 名	74 名
	合格者	3 名	25 名	15 名	43 名
女性	受験者	18 名	32 名	14 名	64 名
	合格者	14 名	23 名	9 名	46 名
全体	受験者 (全体比)	24 名 (17.4%)	68 名 (49.3%)	46 名 (33.3%)	138 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	17 名 (19.1%)	48 名 (53.9%)	24 名 (27.0%)	89 名 (100.0%)
	合格率	**70.8%**	**70.6%**	**52.2%**	**64.5%**

受験者	合格者	合格率
138 名	89 名	64.5%

※第 1 回～16 回まで累計は、資格制度ホームページより、資格認定制度について＞過去の合格率（3 次試験）（http://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass_3rd_exam）をご参照ください。

会 員 限 定

7 月 23 日「夏季情報交換会」開催

国際・交流委員会

7月23日（木）銀座 胡同文華にて「夏季情報交換会」が開催されました。本会は、会員相互の交流を通じて協会の諸活動への理解を深める場として、国際・交流委員会主催のもと毎年実施される懇親会です。

約 40 名の参加者が 6 テーブルに分かれる着席スタイルで、美味しい中華料理に舌鼓を打ちながらの歓談に、交流がより一層深まりました。初めて参加された会員の方も多く、会の後半では各テーブル間の交流も盛んに行われました。

第 12 回「広報活動研究会」（6 月 4 日）開催報告
『スカパーJSAT スカパー東京メディアセンター』見学

企 業 部 会

企業部会では、企業施設によるコーポレートコミュニケーションを体感していただき、会員企業の広報活動（機能、組織、運営体制など）の実際を学ぶことを目的に「広報活動研究会」を開催しています。

第12回の広報活動研究会は、「スカパーＪＳＡＴ スカパー東京メディアセンター」にて開催し、最先端の4K及び8K放送を送り出すスカパー！の放送センターを皆様に見学していただきました。当日の参加人数は21名。企業部会だけでなくＰＲ業部会からも7名のご参加をいただきました。

広報・PRのフロントランナーを結集

ＰＲプランナー部会

既報のとおり、本年６月にＰＲプランナー会員のスキルアップと人脈形成支援のために、「ＰＲプランナー部会」を新設し、広報・ＰＲ実務者の育成・支援体制の強化を図ると共に、ＰＲプランナー資格取得者の当協会の会員化（ＰＲプランナー会員）と当部会活動への参加を推進しております。

ＰＲプランナー資格取得者のほとんどは、企業の広報部門や広告・広報代理店の広報・ＰＲ担当者で、まさに広報・ＰＲのフロントランナー（実務者）であり、最近ではマネジメント層も増えています。

当部会ではこうしたＰＲプランナーに向けて、人材育成のための「ＰＲプランナーフォーラム」や、相互交流のための「ＰＲプランナー交流会」といった場を提供しています。

◇ＰＲプランナーフォーラム

ＰＲプランナーの視野を広げ、高度な知識習得を目的とする教育プログラム。広報・ＰＲのトップランナーを講師に招き、マーケティング・コミュニケーションなどの最新トレンドを、豊富な事例を交えて解説します。講師との双方向のコミュニケーションや、ワークショップなどの参加型プログラムが特徴です。

博報堂ケトルの嶋 浩一郎氏を講師に迎え、7 月 2 日に開催された「第 4 回PRプランナーフォーラム」の様子

◇ＰＲプランナー交流会

ＰＲプランナー資格認定制度の発足以来毎年開催されています。特に若い世代の横断的な人脈形成が、実務での情報や意見交換にも活かされているほか、相互触発の刺激がＰＲプランナーのモチベーションアップにもつながっています。

部会長の田畑好崇氏（協会理事、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社）は「今後は同部会を通じて、ＰＲプランナーの社会的プレゼンスの向上を図り、資格取得メリットの理解を深めたい。さらに、資格取得者の視野を広げることでＰＲ業界を活性化し、オリンピック開催を控える今、日本経済のより一層の発展につなげたい」と語っています。

会 員 限 定

第 166 回定例研究会

テレビ東京のニュース報道

～『ワールドビジネスサテライト』から『チャージ 730！』まで～

講師：テレビ東京
報道局次長 兼 ニュースセンター長
チャージ 730！チーフプロデューサー
大信田 雅二氏

第 166 回（6 月度）は 6 月 16 日（火）に、㈱テレビ東京 報道局次長 兼 ニュースセンター長 兼 解説委員『チャージ 730！』チーフ・プロデューサー 大信田雅二氏を招き「ＡＰ東京丸の内」 Ｅ＋Ｆルームで開催しました。

テーマは、「「テレビ東京のニュース報道 ～『ワールドビジネスサテライト』から『チャージ 730！』まで」。

参加者は 78 名でした。

資格取得で「ベテラン広報」のスタートラインに

宝酒造株式会社
坂口智子

東邦レオ株式会社の熊原　淳さんからご紹介いただきました宝酒造株式会社の坂口智子です。宝酒造は京都に本社を置く清酒・焼酎・チューハイ・調味料などを取り扱う酒類メーカーで、今年創立 90 周年を迎えました。私は商品や社会貢献・環境活動の PR 全般とグループ報の作成などを担当しています。

ＰＲプランナーという資格試験に挑戦したきっかけは、スキルアップのためにと広報課の先輩から受験を勧められたからです。2 次試験合格後、3 次試験を受ける自信がないまま過ごしていましたが、経験も長くなり、改めて気合を入れ直すという意味で挑戦しました。

試験の合格にあたり、ネックとなったのは 3 次試験の課題「ＰＲ計画の立案」でした。長いスパンでのＰＲ計画の立案は先輩に任せきりで経験がなく、試験当日はパソコンの前でフリーズしてしまいました。普段とは全く異なる分野のＰＲ計画の立案とはいえ、広報たるものどんな対象でもＰＲ計画を立案できなければならないのだと自身の未熟さを思い知った試験でした。

ちょうど同じ京都企業の他社広報の方と同じタイミングで試験を受けるということで、知り合いのＰＲプランナーの方を紹介いただき、対策のアドバイスを受けることができました。

合格通知が届く瞬間まで不安でいっぱいでしたが、無事に資格を取得できホッとして嬉しかったのを覚えています。「ベテラン広報・広報専門」と言われることに恐縮していましたが、この資格取得でやっと新しいスタートラインに立てた気がして、身が引き締まる思いでした。

入社以来約 10 年広報という仕事に携わっていて心がけていることは人とのつながりを大切にすることです。当たり前のようなことですが、自社の担当記者の方はもちろん、異業種の広報担当者とのつながりは、いざという時に何よりも心強いと思います。

また、情報交換の場は自社製品のファンづくりの場でもあります。お酒の飲み方ひとつでも、酒造会社の社員にとっては当たり前のことが消費者の方は実は知らないことばかり……これも情報交換の場で話す中で気付いたことです。

食品・飲料等の市場は新商品も多いため、自社製品だけでの記事化は難しく、ワンパターンになりがちです。なかなか難しいですが、最近では他社とのコラボネタも記事化に繋がり始めました。

一見何も関係のないように見える異業種とのコラボでも、新しい切り口での記事化につながる可能性を秘めています。社内だけでなく、社外の人とつながりがあるからこそ、ＰＲの可能性が広がります。他社のＰＲプランナーの皆さんにたくさんの刺激をいただきながら、「もっとできることがあるのではないか」という気持ちで仕事をしています。

ＰＲプランナーの資格取得後は、皆さんと同じように名刺に「PRSJ 認定ＰＲプランナー」と入れています。ＰＲプランナーの方を見かけると親近感がわきますし、未受験の方に声をかけていただくことも増えてきました。
微力ながらも少しでもお役に立てる情報を提供できれば、また輪が広がり、新しいＰＲの形が生まれるのではないかと期待しています。
関東だけでなく、関西でもＰＲプランナーの交流会を設けていただければ嬉しいです。

次は同じ京都企業でＰＲプランナーの資格取得も一緒に頑張った株式会社堀場製作所の牟田真也さんにバトンタッチします。
当社製品のＰＲもしてくださる、頼もしいＰＲプランナーです。よろしくお願いします。

＜コラム関西の風＞

日本の「おもてなし」を考える
～2020 年東京オリンピックを控えて～

株式会社ジェイアール西日本ホテル開発
営業推進室マーケティング・ITグループ
中窪　真子

東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致のプレゼンテーションで、滝川クリステルさんが「おもてなし」という日本語を世界に披露されたのはまだ記憶に新しい。開催都市に選出された後は、日本のメディアでは毎日のようにその演出を取り上げ、「お・も・て・な・し」という言葉が 2013 年の流行語大賞に選ばれるまでになった。

では、日本人の考える「おもてなし」とは何か。
「おもてなし」という言葉が世界的に広まる以前も、日本人の細やかな心遣いは海外にもすでに定評があった。
5 年程前の話になるが、私はシンガポールの五つ星ホテルで働く機会があった。
当時、シンガポールにおけるホテル業界では世界屈指の名門ホテルが次々と進出を図っていたため、私がいたホテルは、強豪ホテルとの差別化を計るためにも、ホスピタリティ精神を存分にアピールする必要があった。

そんな中、私はシンガポールのホテルで日本のおもてなしを見た。
客人をもてなす日本の文化、「おしぼり」である。
常夏のシンガポールに到着されたお客様にはまず、ホテルでのチェックインの際に、冷蔵庫で冷やしたおしぼりを手渡してお出迎えをする。現地のスタッフは、これを「オシボリタオル」と呼んでいる。柑橘系のエッセンシャルオイルをふんわりと香り付け、五感でリフレッシュを促す。
冷たいオシボリタオルで火照った顔や体を休ませた後は、フロントカウンター脇にあるバスケットの中の林檎をひとかじり。たっぷり甘い蜜の入った林檎「ふじ」である。この林檎もまた、旅人の疲れを癒すために一役買っていると言える。

おしぼりの文化や、林檎のふじ。

シンガポールを代表する歴史あるホテルがホスピタリティ精神を研究し、行き着いた先は「日本ブランド」だった。
今でこそ、「おもてなし」という言葉が脚光を浴びているようにも思えるが、そもそも「おもてなし」とは、日本人の奥ゆかしい性格から生まれ、昔からずっと時代を超えて今もなお引き継がれている「日本の心」にあると思う。チップを頂いて存分に提供する「サービス」とはまた異なり、見返りを求めないさりげない気配り、心配りが日本人の考える「おもてなし」であると思う。

私が勤めているホテルグランヴィア京都は、JR 京都駅の正面に立地し、外国人を数多くお出迎えしている。京都という土地柄、そういった日本独特の考え方や思想に興味を持つ外国人は大変多く、茶道や習字、会席料理等の日本伝統文化を体験し、「日本の心」を学ぶ海外からのお客様が後を絶たない。目や口の肥えた外国人を、日本人として、また、京都を代表するホテルとして、いかに「おもてなし」の心を持ってお出迎えできるか。インバウンドのお客様が増加し続けている今、日本人のおもてなし力はさらに期待されている。

日本のおもてなしを考える。
自然とそこにあるような、心地のよい空間を作り出していきたいと思う。

PRSJ in Media

●　７月１日（水）　『月刊広報会議』 ８月号

『月刊広報会議』8 月号における当協会の連載コラムに、国際・交流委員会が主催した「特別国際セミナー」に関する内容が掲載されました。

「特別国際セミナー」では、講師に『ザ・ハフィントン・ポスト日本版』の髙橋浩祐編集長を招き、「新時代のジャーナリズムをけん引する国際ネットメディア」をテーマとして開催されました。

記事では、「ザ・ハフィントン・ポスト」の概要や歴史、編集方針、特徴などが語られるとともに、”反対側の意見も必ず取り上げる”という報道に対する同メディアの姿勢が紹介されています。

●　７月１日（水）　『月刊広報会議』 ８月号

『月刊広報会議』8 月号において、当協会が先に実施した調査に基づく日本のＰＲ市場規模、ＰＲ業売上の推定規模に関する記事が掲載されました。

記事では、2014 年度におけるＰＲ市場の推定規模は 4351 億円、ＰＲ業売上は 948 億円にのぼることが紹介されました。また、市場規模の推計については、現在のＰＲが広報、パブリシティという狭義の観点からでは捉えきれないことから、ＰＲ業売上のみでなくイベント、ウェブ、出版（雑誌編集タイアップ）、広告（行政広報）、リスクコンサルティングの領域を調査し、それぞれの金額を合計して算出した初めての調査結果であることに触れられています。

（事務局・真部）

編集担当より

会員のみなさんの情報をお寄せください！！

本誌では会員の動向・消息や、会員から会員へのお知らせなどを積極的に掲載いたします。ビジネスに直結する情報に限らず、会員交流に関するものでも結構ですので是非ご一報ください。

■ 関西支部事務局員交代のお知らせ

今まで当協会関西支部事務局員であった南辻香織が７月末付で、退職致しました。
後任には８月１日から梅垣弘子が事務局員として勤務することになりました。
梅垣の出勤日は従来通り「火曜日」です。
また、事務局長の村田は水曜日～金曜日の勤務となっております。
月曜日は原則、事務所を閉鎖しております。そのため、皆様のご要望に十分お応えできないことも多々あろうかと思いますが、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、梅垣は毎月の定例会、各種講座なども従来通り、受け付けその他事務方として皆様のお世話を致します。慣れるまでの当初は多々、ご迷惑をおかけするかも知れませんが、皆様方の倍旧のご支援・ご鞭撻をお願い致します。

新事務局員　ご挨拶

事務局員　　梅垣弘子

８月１日付で日本パブリックリレーションズ協会 関西部会の事務局員としてお世話になることになりました。
何分、新しい業務で不慣れな点が多々あり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様の御指導を得て、頑張っていく所存です。
よろしくお願い致します。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思いますので、
よろしくお願い致します。

広報委員会
Ｅメール　mail@prsj.or.jp
ＦＡＸ　03－5413-2147

※　禁転載